

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	儀式及び表彰						継続		
コード	24	-	01	-	01	-	00	予算事業名	儀式及び表彰
担当部署	秘書室			秘書担当			予算事業コード	会計 10 款 02 項 01 目 01	

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)	位置付けなしの場合	無	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)			実施計画事業名	なし
方向性(節)			個別計画等の名称	なし
施策			当事業に関連する事務事業	なし
細施策				
事業実施の根拠となる法令・条例等	埼玉県表彰規則、川越市名誉市民条例、川越市民栄誉章規則、川越市表彰規則、川越市顕彰要綱、川越市表彰審査委員会要綱等			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	地方自治の振興、公共の福祉増進などに貢献し、その功績が顕著である個人・団体を表彰する、あるいは感謝状を贈呈することにより、被表彰者等の更なる発展、飛躍につながり、よって公益的活動の活性化が期待できる。また、表彰(顕彰)等を実施することにより、市民意識の高揚に寄与するとともに、市民の更なる市政への参加・協力が期待できる。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	表彰規則に基づく有功表彰、善行表彰、文化表彰及び顕彰要綱に基づく初雁賞は、各部局室から推薦のあった表彰候補者の適否を表彰審査委員会で審査し、市長決裁をもって決定し、市制施行記念日に表彰・顕彰する。名誉市民条例に基づく名誉市民は、市議会の同意を得て随時贈る。また、市民栄誉章規則に基づく栄誉章は、市長決裁をもって決定し随時表彰する。感謝状贈呈要綱に基づく感謝状は、市長決裁をもって決定し随時贈呈する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	1,362	1,148	1,089	6,189	993	808
(25年度予算額大幅増/減の理由)	平成24年度は市制施行90周年という節目の年であることから、例年よりも多くの人・団体を表彰したため。					
事業費 A	539	390	518	3,993	993	808
人件費 B	2,201	2,201	2,201	7,337	2,201	2,201
総コスト(C=A+B)	2,740	2,591	2,719	11,330	3,194	3,009
正規職員(1年間の従事人数)	0.30人	0.30人	0.30人	1.00人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)						
国県支出金 D						
その他特定財源 E						
市の財政負担(=C-D-E)	2,740	2,591	2,719	11,330	3,194	3,009

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	被表彰者数	62	60	83	108	116	70
	指標の定義・説明	埼玉県表彰、名誉市民、市民栄誉章、川越市表彰、初雁賞の被表彰者数(団体を含む)					
成果	感謝状被贈呈者数		2	14	733	10	10
	指標の定義・説明	要綱に基づく感謝状被贈呈者数(団体を含む)					
成果							
	指標の定義・説明						
成果							
	指標の定義・説明						
指標に基づく評価	被表彰者を顕彰し、その功労、功績をたたえるほか、被表彰者への感謝の意を表するなどの機会であることから、本事業は必要不可欠であると思われる。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
被表彰者等の情報をデータベース化し、検索機能の構築を検討する必要がある。また、各分野における、表彰候補者を把握しやすいしくみづくりが必要である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
中核市調査結果によると、何らかの形で市民等を表彰している市が大多数であるが、本事業の効果をより高めるため随時見直す必要がある。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
市民を対象とした表彰は、市民の励みとなり、より一層の活躍をもたらすため、事業の縮小・廃止の影響は大きいと思われる。一方、川越市表彰のうち、市職員を対象とした表彰については、縮小・廃止の影響は少ないと思われる。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署						秘書室	秘書担当
事務事業名称		24	01	01	00	儀式及び表彰	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	改善(見直し)		川越市表彰のうち、有効表彰について、表彰の対象者や内容等について、縮小を視野に入れた検討が必要である。			
	27年度	継続					